

かかりつけ薬局の 知っ得情報

12



高齢社会が進み、薬剤師が医師、看護師、ケアマネージャー、ヘルパーと連携して行う在宅医療に対するニーズが高まっています。

在宅医療では多職種が訪問診療時の医師の判断を基に、それぞれ専門の立場から意見を交わします。その中で薬剤師は処方設計、服薬状況や薬効・副作用のチェック、服薬リ

スクに関する情報提供を行い、チーム医療としての重要な役割を担います。まず、処方せんの内容を確認して、患者さんの情報をもとに他の病院のお薬や健康食品、市販薬、食べ物との飲み合わせなどをチェックしながら調剤します。患者さんのご

自宅に訪問し、配薬・服薬指導を行ないながら、食欲、食事量、尿や便の回数や出具合、睡眠の質や時間、浮腫など体の様子を確認します。最近では、脈拍を測定、聴診器を用いて心音、肺音、腸音などのバイタルチェックを行

服用回数の見直しなどをした上でそれでも薬の種類が多くて管理が難しい場合には、服用時点ごとに薬の包装を行う、服薬カレンダーを設置するなどします。

飲み込みが難しい場合には、粉薬・液剤・口中ですぐに溶ける薬への変更を検討し、薬効に影響のない範囲で錠剤を潰したり、とろみ剤やゼリーで飲む方法を指導したりします。胃ろうなど経管でお薬を服用する場合は簡易懸濁法という方法を指導することもあります。

在宅医療の中でも薬剤師は様々なサポートをご提供します。お気軽にかかりつけ薬局にご相談ください。

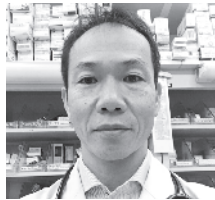
担当薬剤師

東風平秀博

お問い合わせ ☎047・

360・3600 一般社

団法人松戸市薬剤師会



在宅、健康相談

田辺薬局 新松戸西店
松戸市新松戸6-39
<http://www.tnb.co.jp/>
☎047・312・1355